



第1回

ヒューマンサービス学会学術集会報告

テーマ：地域に根ざしたサイエンスとしての ヒューマンサービスの幕開け

学術集会長 中村 丁次

神奈川県立保健福祉大学名誉学長

会期 2023年11月5日(日) 12時15分～18時

会場 神奈川県立保健福祉大学 階段教室〒238-0013 神奈川県横須賀市平成町1-10-1

共催 神奈川県立保健福祉大学うみかぜ祭 ヒューマンサービスパーチ

記念すべき第1回ヒューマンサービス学会学術集会が開催されました。当日の参加者数は、会場参加とWeb参加を合わせて84名でした。2つの講演、シンポジウム、一般演題(4演題)といういずれも興味深く価値あるものであり、質疑応答も活発でした。学術集会の様子を一部ご紹介し、参加者アンケート結果をお知らせします。

— 学術集会長による挨拶、ミニ講演 —

『ヒューマンサービスの原点に戻る』

学術集会長 中村丁次名誉学長

* 講演の要旨は学会誌第1巻に掲載されます。



— 基調講演 —

『つながりの持てる社会づくり—社会的孤立の実態と
伴走型支援』

日本福祉大学福祉経営学部教授 藤森克彦氏

* 講演内容は学会誌第1巻に掲載されます。



座長：玉川淳教授

ヒューマンサービス学会 事務局
広報担当(田口・水戸)



シンポジウム 『ヒューマンサービス学会への期待』

ヒューマンサービス学会は、ヒューマンサービスにかかる教育・研究・実践の探求、および普及・啓発を図ることを目的として設立しました。この目的を達成するためには、専門職団体との連携や専門職団体が本会にどのような期待・ニーズを持っているかを知ることが大切と考えました。そこで、神奈川県専門職団体の代表の方々によるシンポジウムを企画しました。その様子を一部ご紹介します。



座長：白井正樹氏
村上明美氏

『誰もがその人らしい生活を送れるように支援する専門職』を共に育成する。実践活動を学術レベルまで深化・発展を目指して、県民の保健・医療・福祉に貢献することを期待する。
神奈川県看護協会 長野広敬 会長



『すべての国民が健康な生涯を全うできる社会の実現のために』フォーマル・インフォーマルを含めて、エビデンスや健康政策など、様々なベクトルからのサービスの実現を期待する。
神奈川県栄養士会 西宮弘之 会長



『人権・人間の尊厳と全体性を尊重し、福祉社会の形成を導き、そして誰をも排除することない利用者主体の望ましいサービスを構築する研究と活動』を期待する。
神奈川県社会福祉士会 金井直子 副会長



『「個々の幸せ well-being」を目的に治療回復だけに傾倒せず、個人の能力や役割に目を向けた活動、そのために最新の知見をもとに最高の技術を備え、人に寄り添う活動』の探究を期待する。
神奈川県理学療法士会 露木昭彰 副会長



『生活』は生きるための作業活動（生・活=いきる・いかす）であり、そこを支えるために専門職の価値観を併せること、命の尊さを知る道德教育の重視、医の精神を継承する学びの大切さ』を探究することを期待する。
神奈川県作業療法士会 神保武則 会長





一般演題（口演）発表 4演題

一般演題(口演) 1

『ICN（国際看護師協会） モントリオール大会参加報告』
…テクノロジー、多文化共感、看護師のウェルビーイングに焦点を当て、これらが将来の看護実践に影響を与えることが明確になりました。
看護学科学生 長野さん



一般演題（口演）2

『アフターコロナでの「サマースクール」実施について』
…2005年より学生が主体となって、市内在住の支援を必要とする児童を3日間大学に招き、学生ボランティアとともに充実した夏休みを過ごす「サマースクール（以下サマस्क）」は、新型コロナウイルス感染症の影響により3年間開催できなかったが、2023年度は再開することができました。その活動を報告します。
H.S.Cサークル「サマースクール実行委員会」



一般演題（口演3）

『多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果：パイロットスタディ』

…我々は本学の連携実践教育科目「ヒューマンサービス総合演習」に焦点をあて、多職種連携の推進を目的とした事例提供ツール「教育用模擬電子カルテ」を用いた新しい教育プログラムを開発し、パイロットスタディによりその教育効果を検証した。その結果を報告する。

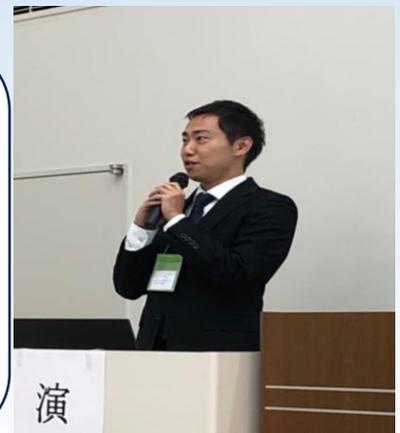
看護学科 渡邊 恵, 他



一般演題（口演4）

『訪問看護の現場における行政書士との連携事例』
…訪問看護の実践のなかで、行政書士と連携し、利用者にとってのいわゆる「終活」をコーディネートした。その結果、当該利用者の生活の質の向上および安心安楽な療養生活の維持に寄与できた経験を報告する。

TSUKASA訪問看護ステーション
饗庭 康太郎

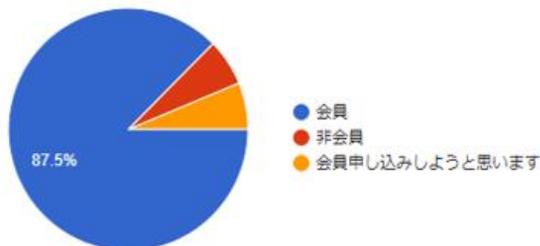


学術集会参加者アンケート集計結果

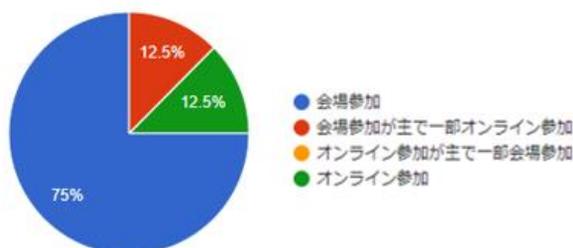
Webアンケートにより、参加者アンケートを実施しました。
この結果を第2回学術集会に活かしていきます。ありがとうございました。

1. 会員の有無

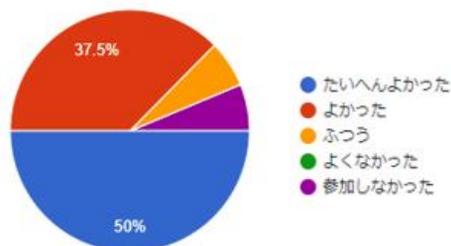
回答数15件 (25.9%)



2. 参加方法を教えてください



3. 学術集会長の挨拶はいかがでしたか。



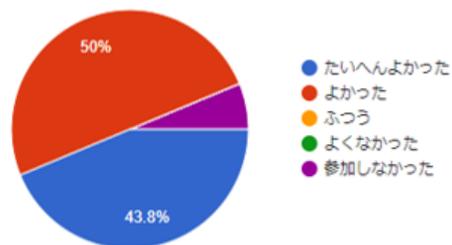
自由記載

- ・学会設立への思いが伝わった。

<日時、場所、会場運営について意見・感想>

- ・学園祭と同日開催は騒音もあり、あまり好ましくないのではないのでしょうか (3件)。
- ・オンライン参加ができたので良かった。
- ・オンライン参加もしくは会場参加1択のみが好ましい。
- ・会費は一律が望ましい。
- ・会場参加させていただき、登壇された方々にお会いできて楽しく参加できました。
- ・朝から長丁場でした。高齢の皆さんがお疲れモードだったのが気になりました。
- ・第1回開催おめでとうございます。ご準備や運営は大変だったかと思います。関係各位に敬意を表します。第2回も楽しみです。

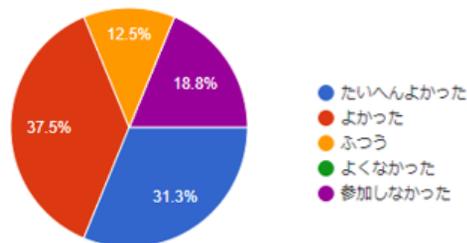
4. 藤森氏による基調講演はいかがでしたか。



自由記載

- ・伴走型支援の在り方に共感できた
- ・とても勉強になりました。パワポの資料の縦横比が最近のパワポと合っていないのが気になりました。そのためか文字が小さく感じました。でも内容はとてもためになりました。
- ・孤独と孤立の区別について、興味深く拝聴しました。伴走型支援の実践については現在進行形のものでしたので、その成果や成果から見えた課題等についても詳しく伺いたいと思いました。

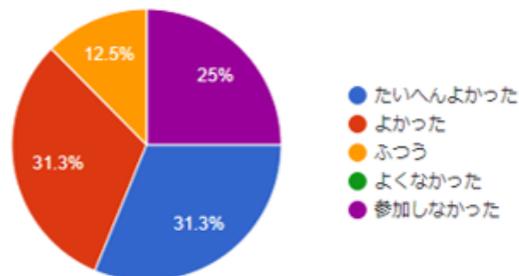
5. 神奈川県の特任職能団体によるシンポジウムはいかがでしたか。



自由記載

- ・どの団体のかたもヒューマンサービスへの期待も熱く語っていて感動した。

6. 一般演題 (口演) はいかがでしたか。



自由記載

- ・学生さんに活動に感銘を受けた。
- ・一般演題がもっと増えるといいと思います。院生さんの発表も聞きたいです。